The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	スワヒリ＆アフリカ研究　第30号　編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	スワヒリ＆アフリカ研究. 2019, 30
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/72911
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

ꕥ 編 集 後 記 ꕥ

いよいよ、あとひと月あまりで、「平成」が終わります。平成30年度の終わりに、第30号を刊行することができたことに、深い感慨を覚えます。この『スワヒリ＆アフリカ研究』は平成とともに歩んできたことになります。これまでの30年間の歩みを見守り、支え、ご助力いただいたすべての方々に、心より御礼申し上げます。

第1号は、1990年（平成2年）に出されました。大阪外国語大学時代のスワヒリ語専攻に、初めて大学院の修士課程が設置された年で、この冊子を刊行するのは、「微力ながらも学科創設の目的の実現に向かって一歩でも近づくためである」（発刊の辞）とあります。学科創設の目的とは、「スワヒリ語の研究と教育を基底に、アフリカ地域の総合的な理解」をめざすものであり、それは、現在のスワヒリ語研究室にとっても変わらない目的です。そして、この『スワヒリ＆アフリカ研究』が、小さな歩みながらも、その目的のために何かしらの貢献ができてきたとしたら、それは私たちにとって大きな喜びであり、誇りでもあります。

本誌の創刊者の一人である宮本正興先生から先日、ご自宅の整理をしているとのことで、大量の蔵書をスワヒリ語研究室にご寄贈いただきました。アフリカの歴史や文学、言語に関する年代物の貴重な洋書を共同研究室に収めながら、先生の御研究の歴史、ひいては日本のアフリカ研究の歴史に、ひととき思いを馳せました。アフリカ研究を志し、アフリカ理解を深め広めたいと望む私たちにとって、先人の歩みを振り返り、それを引き継ぎ、次の世代に渡していくことも、大きな役目の一つであるのだと実感しています。

次号の31号は、新しい元号とともに、新しい時代に向けて前進していく第一歩となります。今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻、ご投稿をいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

（2019年3月12日　K）

投稿・問い合わせアドレス：　swahiliandafrica@gmail.com

大阪大学機関リポジトリ OUKA にて公開中:
https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/?lang=0
【OUKA スワヒリ＆アフリカ研究】で検索

2019年3月31日発行

スワヒリ＆アフリカ研究　第30号

発行　大阪大学大学院言語文化研究科　スワヒリ語研究室
〒562-8558　大阪府箕面市粟生間谷東8-1-1
編集　米田信子、竹村景子、小森淳子
印刷　株式会社アイジイ　〒531-0072　大阪府大阪市北区豊崎4-6-3

ISSN 0915-8758